

平成22年度下半期 財政運営状況

一般会計

予算の概要

平成22年度の最終予算は、7回(下半期3回)の補正を行った結果、1392億1300万円でした(右図)。主な補正予算の内容は右表のとおりです。

収入・支出の状況

23年3月末現在、予算現額1395億2700万円(21年度から繰り越した事業費3億1400万円を含む)に対し、収入済額(歳入)は1127億4700万円(収入率80.8%)、支出済額(歳出)は1112億3800万円(執行率79.7%)です(下図)。

一般会計の流れ

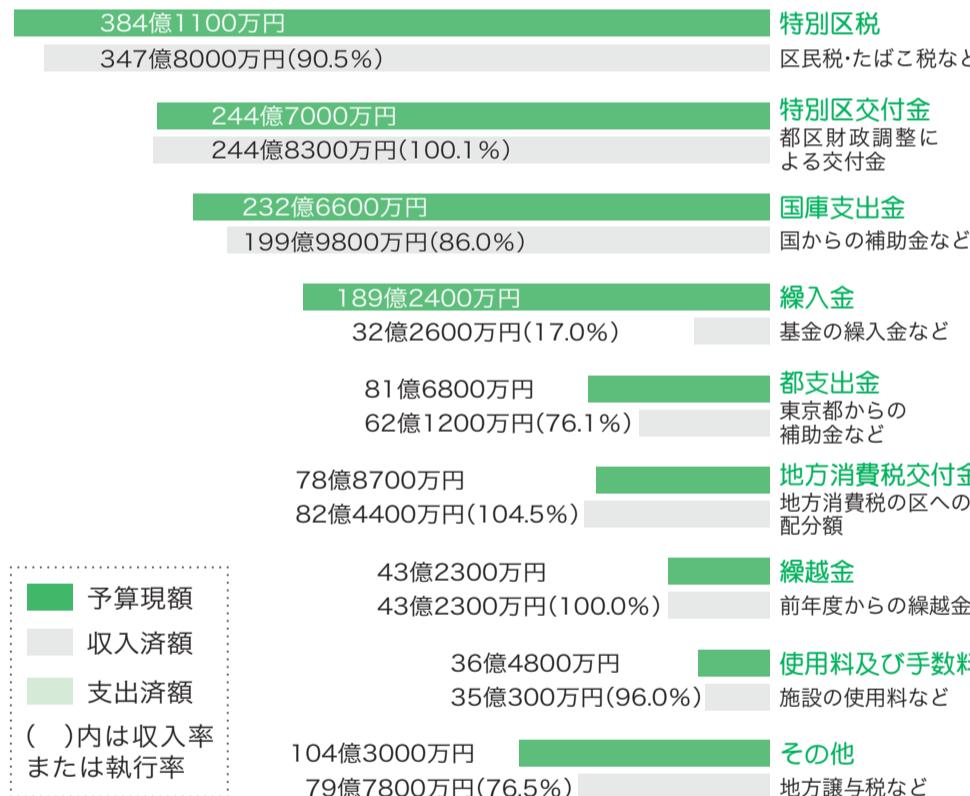


★予算の補正とは、すでに決まった予算を追加・減額によって変更することです。

収入・支出済額の内訳

歳入

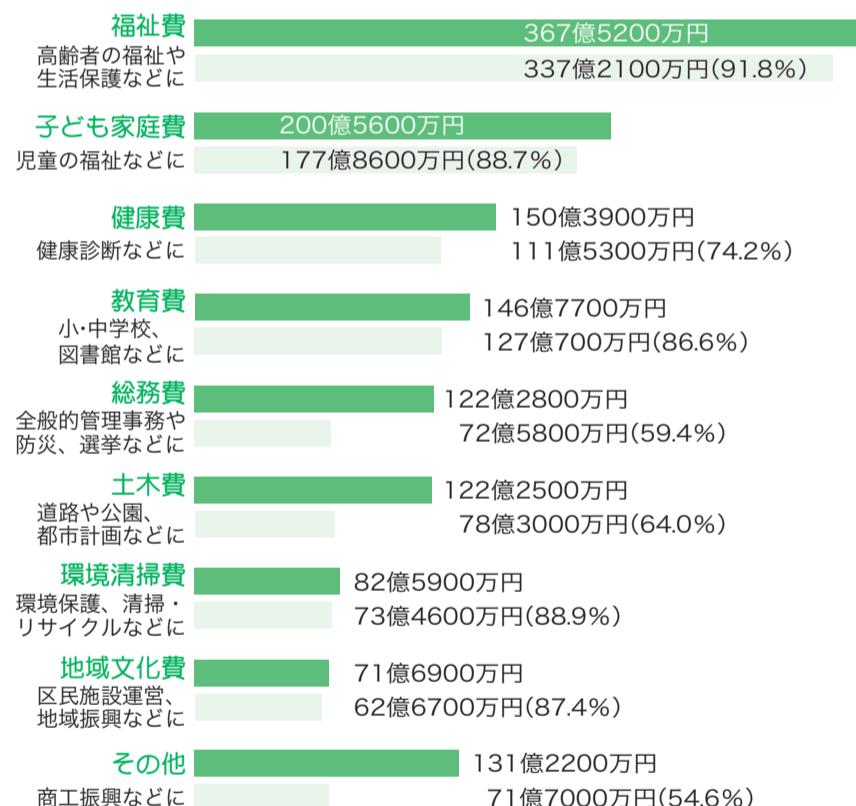
収入済額1127億4700万円(収入率80.8%)



予算現額 1395億2700万円

歳出

支出済額1112億3800万円(執行率79.7%)



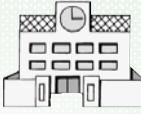
区有財産

区は、さまざまな事務事業を行うために必要な庁舎・校舎・保育園・公園等の土地や建物・工作物、出資による権利等の財産を所有しています。23年3月末現在の現在高は、7860億3700万円です(下図)。

現在高7860億3700万円

公有財産 (土地・建物など)

7286億7800万円(92.7%)



基金 (特定の目的のための預金)

534億9800万円(6.8%)



31億6600万円(0.4%)

債権

6億9500万円(0.1%)

()内は構成比

万引きはしないさせない見逃さない！万引きをしない勇気とさせない社会

区では、毎年2回、歳入歳出予算の補正や執行状況などを公表し、財政面から区政運営の状況を区民の皆さんにお知らせしています。今回は、22年度に予算を補正して取り組んだ事業と、23年3月末現在の財政状況の概要をお知らせします。

なお、区財政の収支は、5月末までを収入と支出を整理する期間としているため、22年度決算の概要は10月末にお知らせします。

【問合せ】財政課(本庁舎3階) ☎ (5273) 4049へ。

★予算は一般会計と特別会計に分けられます。一般会計では、特別会計以外の区政に必要なあらゆる収入と支出を扱います。

★歳入・歳出予算は、1つの会計年度内の収入と支出の見積もりです。収入済額・支出済額は実際の収入と支出の額です。

予算を補正して取り組んだ主な事業

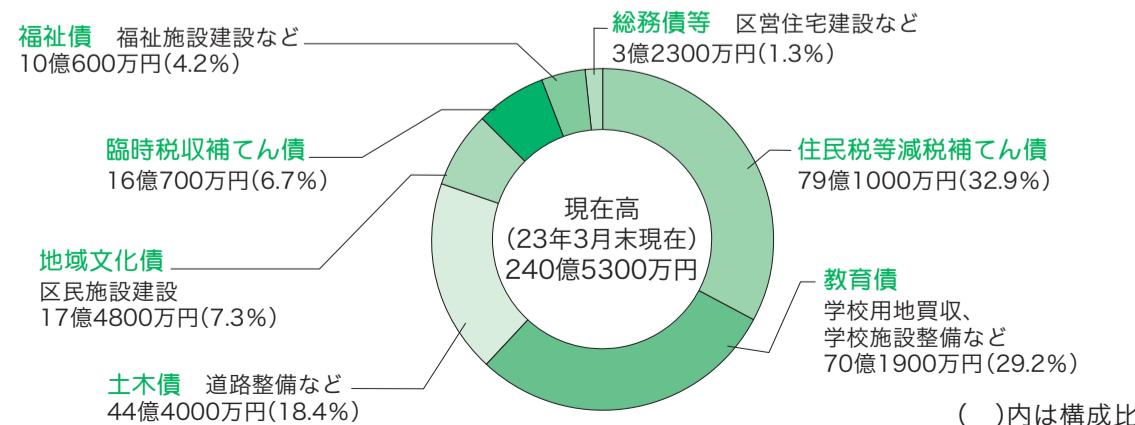
補正事業	補正予算額
子ども手当(2回補正)	32億9210万円
予防接種(2回補正)	1億4031万円
大久保第一保育園・大久保三丁目アパート耐震強化等設計委託	750万円
落合の文化歴史資源の整備(仮称・中村彝(つね)アトリエ記念館)	1億3683万円
仮称・NPOふれあいひろばの整備(設計委託)	256万円

★最終の予算の補正では、工事費などの実績に応じ、40億1760万円を減額しました。

特別区債

施設の建設・用地の取得等に多額の資金を必要とする場合、特別区債を発行して資金を借り入れ、財源を補充します。23年3月末では、発行額449億5500万円、償還済額209億200万円で、現在高は240億5300万円です(下図)。

★住民税等減税補てん債・臨時税収補てん債とは、税制改正に伴う地方公共団体の減収額を埋めるために発行した地方債のことです。



万引きはしないさせない見逃さない！万引きをしない勇気とさせない社会